

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 5 日

仕事の内容	総合計画事務（第四次基本計画進捗管理事務）			
担当部署・課長名	企画	課	企画担当	係 課長名 荒井亮二

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	行 - 2	-
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現		総合計画書 (ページ)	122	

予算名	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 7 企画費	事業 2 総合計画事務費
-----	---------	-----------	---------	--------------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 第四次基本計画に策定された施策（節）に掲げられた主な成果・活動指標	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） ①各施策（節）に掲げられた主な成果・活動指標の数 ② ①の主な成果・活動指標のうち、市民意識調査及び庁内調査により把握するとされた主な成果・活動指標の数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 施策の成果を認識できる。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 各施策に掲げられた主な成果・活動指標のうち、把握できた主な成果・活動指標の数の割合
	③ そのために何をしましたか。 ①平成29年度市民意識調査を実施し、平成30年度の委託により内容の分析及び報告書の作成を行った。 ②平成31年度の施策評価に向けて、平成31年2月15日から3月15日を回答期間として、平成30年度市民意識調査を行った。 ③庁内の対象となる課に対して、平成29年度の主な成果・活動指標について実績調査を行った。	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①実施回数：回 ②対象者数：人 ③庁内調査実施回数：回、対象課数：課

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	①項目 ①75 ②項目 ②72	①75 ②72	①75 ②72			
	成果指標	②の数値	%	100	100	100		
	目 標	②の目標値	%	100	100	100	100	100
		目標値設定の考え方	第四次基本計画で定められた、各施策の主な成果・活動指標のすべてを把握する。					
活動指標	③の数値	①回 ②人 ③回、課	①1 ②2,000 ③1、16	①1 ②2,000 ③1、16	①1 ②3,000 ③1、16			

3 経費	事業費（実績）		円	1,157,643	1,153,445	1,217,969	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円	1,157,643	1,153,445	1,217,969	
		特定財源	円	0	0	0	
	（うち受益者負担）		円	0	0	0	
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数（再任用）	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費（再任用以外）		円	826,700	825,300	824,400		
職員人件費（再任用）		円	0	0	0		
事業費十人件費		円	1,984,343	1,978,745	2,042,369		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。	
	開始時期：平成25年度。 目的：第四次基本計画の計画期間（平成25年度～平成33年度）における施策の進捗状況を把握する。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 調査票の回収率が低下傾向にあることから、調査結果の信頼性を確保するため、対象者数をこれまでの2,000人から平成30年度は3,000人に増やし回答票の増加を図った。	

仕 事 の 内 容	総合計画事務（第四次基本計画進捗管理事務）				
担当部署・課長名	企画	課	企画担当	係	課長名 荒井亮二

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし。	

6 市民 協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組んだ	取組手法 ③、⑥
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：報告書）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 主な成果・活動指標の実績値を把握するため、毎年度庁内調査及び市民意識調査を実施し、遅滞なく庁内に結果を公表すること。また、把握した実績値の有効な活用方法について検討する必要がある。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 行政管理課と連携を図り、主な成果・活動指標の実績を施策評価（行政評価）に活用した。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 把握した主な成果・活動指標の実績値の有効な活用方法について検討する必要がある。	

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 主な成果・活動指標の実績を施策評価（行政評価）に活用する。	
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 主な成果・活動指標の実績を施策評価（行政評価）に活用するため、引き続き行政管理課との連携を図る。	
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。	

成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。
----	----------	----	-------------